

## R6. 12. 12 研修参加者記入アンケートのまとめ

### A：本日の教育・保育内容研修はいかがでしたか？

#### 1. 新しい学びと気づき

- ・お話遊びの考え方、進め方を教えてもらえた。
- ・子ども主体で活動することの大切さを改めて気付かせてもらえた。
- ・劇遊びの楽しみ方、子どもが主体的に取り組むことができるような普段からの活動の在り方について考えることができた。

#### 2. 実際の映像や経験談の効果

- ・動画で実際の活動の様子の映像も見せてもらい、学びとなった。
- ・先生の経験談や動画を見せてもらいながらの研修だったので分かりやすかった。
- ・映像や写真でエピソードや子どもとのやりとりも知ることができ、イメージしやすかった。

#### 3. 具体的な取り組み方の学び

- ・お遊戯会に向けて、どのような取り組み方が子ども主体の活動につながるのか学ぶことができた。
- ・劇遊びをする際に工夫する点がよく分かった。
- ・動画を見ながら場面ごとに説明していただいたので、イメージがしやすかった。

#### 4. 今後の行事や活動への期待

- ・実際にこれからお話遊びを進めていく時期なので、良い学びになった。
- ・まもなくスタートする劇遊びに向けて、私自身ワクワクする気持ちももてた。
- ・どのように劇遊びを進めていけな良いか分からず悩んでいたのととても勉強になった。

#### 5. 実践的な参考材料

- ・実際に今お話遊びを進めているところなので、非常に良い機会だった。
- ・実際のビデオを見ながら劇遊びについて知ることができ良かった。

### A：本日の研修の感想や学んだこと、気付いたこと等記入ください。

#### 1. 子ども主体の重要性

- ・子ども主体の活動となることで、劇遊びがより楽しくなる。
- ・子ども主体の活動は、保育者主導に比べ、子どもたちが生き生きとし、伸び伸びと嬉しそうにする姿が見られる。
- ・子ども主体の活動を日々の保育の中でも再確認し、楽しい保育を目指す。

#### 2. 劇遊びの学び

- ・「心が豊かになる遊びを遊び込んでいった先に劇がある」という言葉が印象的であった。
- ・悪役の設定について、「劇だから許される」という考え方に納得。
- ・今後の劇遊びに今日の学びを生かしたい。

#### 3. 保育者の役割

- ・保育者は子どもたちの考えや行動をよく観察し、アイデアを取り入れながら子どもの意欲を引き出し、進めていくことが大切。
- ・保育者が前に出るのではなく、子どもの様子を「見守る・待つ・信じる」ことが重要。
- ・必要な声掛けやアドバイスは必要だが、子どもたちの主体性を尊重することが大切。

#### 4. 実践と反省

- ・今まで自分が進めてきた劇遊びが保育者主導になっていたことを反省。
- ・子ども主体の取組は時間がかかり難しいが、取り組んでいきたい。
- ・子どもたちと一緒に劇表現を楽しむことを目指す。

#### 5. 具体的な取組

- ・子どもたちが好きで、なりきることを楽しむことのできる絵本を見つけ、自由（子ども主体）な劇遊びに取り組みたい。
- ・子どもたちの興味や遊びの中から題材を見つけ、共通のイメージをもつてやりとりを楽しむ中で、子ども主体の劇遊びに取り組んでいきたい。